

Business
Report

へんしん

第49期 第2四半期 / [2019年4月1日~2019年9月30日]



超強力吸引作業車
(SU-16BWJP)

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

柳井 仁司

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
●
- 2～3 財務ハイライト
●
- 4 財務諸表
●
- 5～6 事業概要
●
- 7～8 製品トピックス
●
- 9 トピックス
●
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第49期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」を
お届けいたします。

中期経営計画・第49期全社活動方針

当期は、中期経営計画(3ヵ年)「**挑戦**」の初年度であり、重点実施事項と
しまして

1. [ユーザー志向]

兼松ファンを1社ずつ増やす。

2. [効率化]

新工場稼動と次期基幹システム導入による業務プロセスを構築する。

3. [トラブル撲滅]

業務と製品の品質向上と省力化を両立させる業務プロセスを構築
する。

4. [人材育成]

個々のモチベーション向上と組織の活性化を図り、人材の成長と働き
甲斐のある職場創りを促進する。

5. [新市場開拓]

影響力のある顧客が抱えている課題を、当社の技術力で解決する
ことにより、顧客が利益を得る好循環を造る。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

2019年11月

営業の概況等

当第2四半期累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速による輸出の低迷により、生産は弱さが残るものの、個人消費は緩やかな回復が持続し、設備投資も増加基調にあり高水準の企業収益により、景気は緩やかに回復しております。

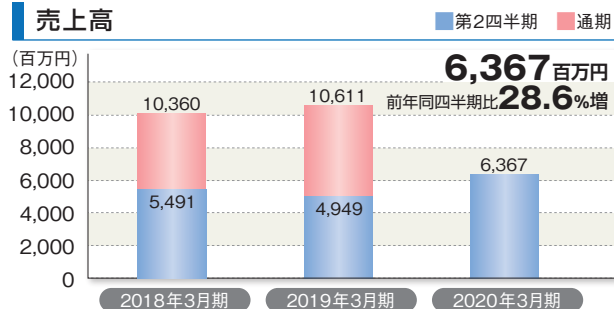
かかる状況下、当第2四半期累計期間は、一部シャーシモデルチェンジに伴い、8月末が車両登録期限となる現行車の販売や、短期間での納車を希望されるお客様向けの先行製作車の販売が引き続き好調を維持しており、全国的なインフラ整備事業の進展等を背景に、活発な生産活動を行い、前年同四半期比

増収・増益の結果となりました。

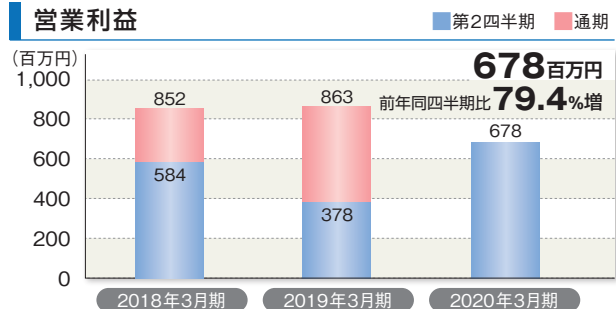
業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は531百万円増の6,091百万円(前年同四半期比9.6%増)、売上高は1,417百万円増の6,367百万円(前年同四半期比28.6%増)となりました。損益につきましては、営業利益は300百万円増の678百万円(前年同四半期比79.4%増)、経常利益は301百万円増の693百万円(前年同四半期比76.8%増)、四半期純利益は214百万円増の481百万円(前年同四半期比80.2%増)を計上することとなりました。

2020年3月期第2四半期の業績ハイライト

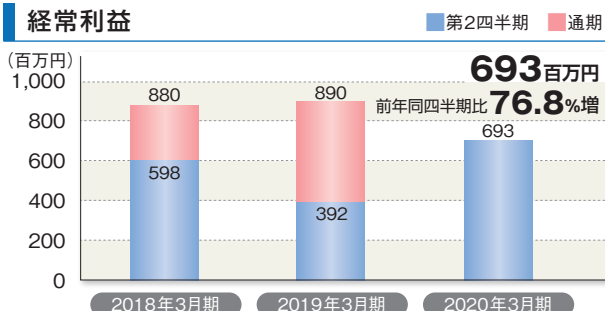
売上高



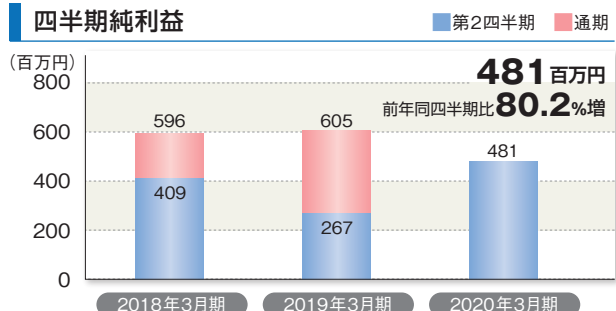
営業利益



経常利益

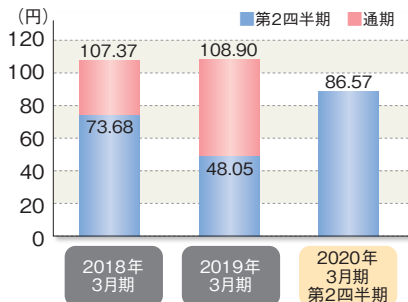


四半期純利益

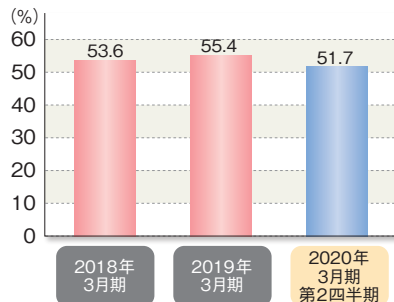


財務分析指標の推移

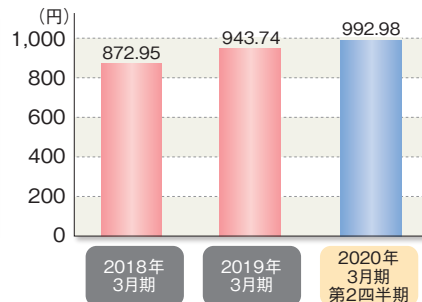
1株当たり純利益



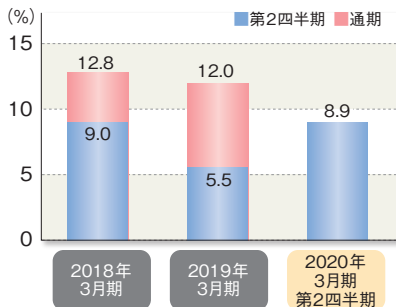
自己資本比率



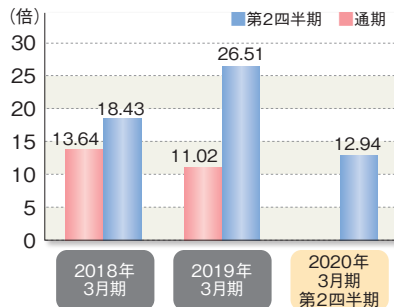
1株当たり純資産



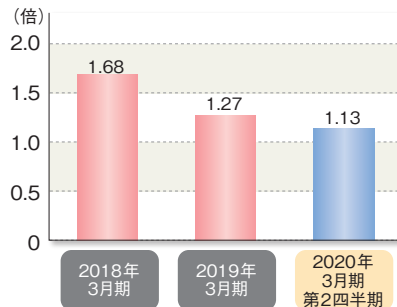
ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	10,600百万円	858百万円	880百万円	605百万円	108円84銭

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (2019年9月30日)	前 期 末 (2019年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	7,586,504	6,247,066
固定資産	3,082,652	3,215,089
有形固定資産	2,684,657	2,842,398
無形固定資産	23,230	20,168
投資その他の資産	374,764	352,523
資産合計	10,669,156	9,462,155
(負債の部)		
流動負債	4,921,791	3,997,779
固定負債	227,636	218,380
負債合計	5,149,428	4,216,159
(純資産の部)		
株主資本	5,522,125	5,246,564
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	4,854,283	4,578,722
自己株式	△1,879	△1,879
評価・換算差額等	△2,397	△567
純資産合計	5,519,728	5,245,996
負債純資産合計	10,669,156	9,462,155

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	前第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	6,367,620	4,949,646
売上原価	4,886,215	3,862,902
売上総利益	1,481,405	1,086,743
販売費及び一般管理費	802,428	708,223
営業利益	678,976	378,520
営業外収益	14,716	13,951
営業外費用	5	205
経常利益	693,687	392,266
特別利益	5,834	608
特別損失	148	48
税引前四半期純利益	699,373	392,826
法人税等	218,138	125,711
四半期純利益	481,235	267,114

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	前第2四半期 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,448,488	595,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	121,733	△31,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,467	△201,382
現金及び現金同等物の増減額	1,368,754	362,980
現金及び現金同等物の期首残高	876,142	772,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,244,896	1,135,721

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

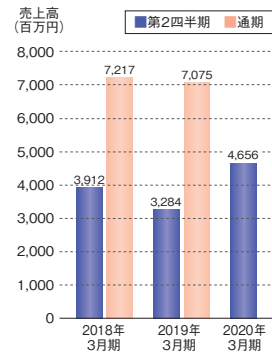
強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **4,656**百万円

国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SS-16BWPP)

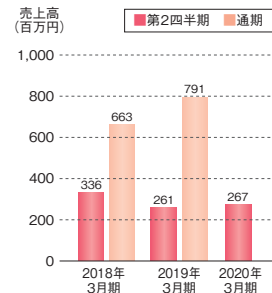


強力吸引作業車 (MP-03BVP)

新製品等 / その他

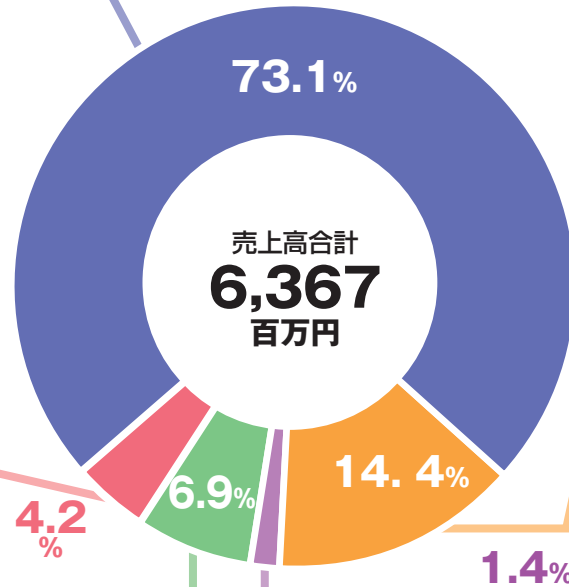
売上高 **267**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



回収タンク (SKP10)

**製品別売上高
構成比**



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **914**百万円

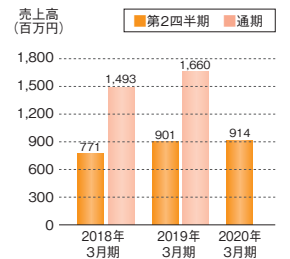
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-06S2320K(S))



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **90**百万円

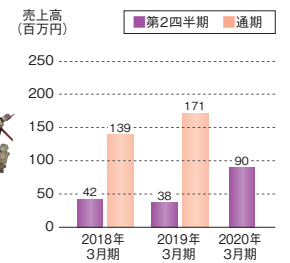
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等粉粒体の回収・高所搬送



粉粒体吸引圧送車 (SQ-16BVT)



部品販売

売上高 **439**百万円

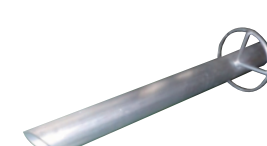
当社製品に関連する部品の売上げです。



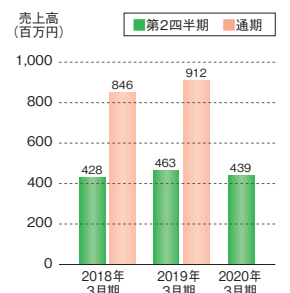
ワンタッチ金具 (ホース接続ジョイント)



ワンタッチカプラ (ホース接続ジョイント)



アタッチメント (吸引アタッチメント)

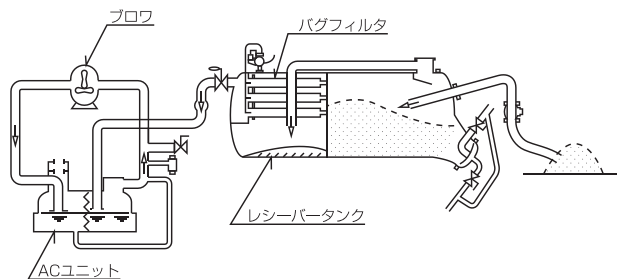


粉粒体吸引圧送車 (SQ-16BVT)

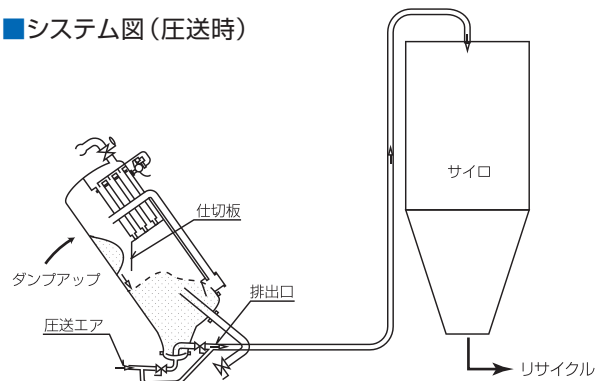


本製品は、構内ダストの再利用（リサイクル）等に使用される粉粒体吸引圧送車です。
 レシーバータンクへの回収は、車載ブロフによる吸引回収とレシーバータンク上部投入口への落とし込み回収が選択できます。
 レシーバータンクからの排出は、車載コンプレッサーによる圧送、外部エアによる圧送、レシーバータンクを開放して行うダンプ排出が選択できます。

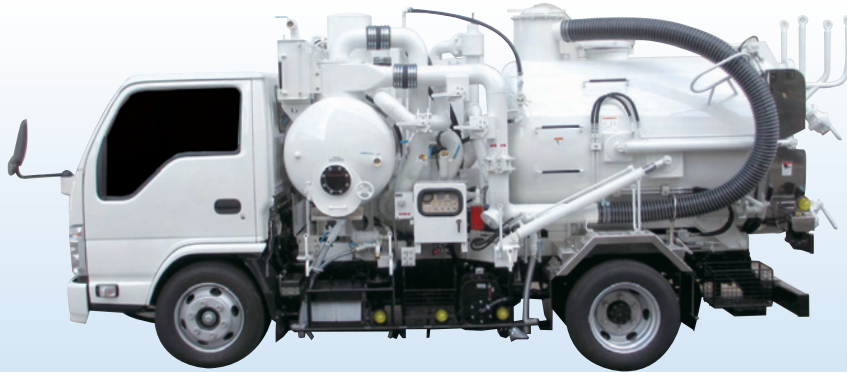
■システム図（吸引時）



■システム図（圧送時）

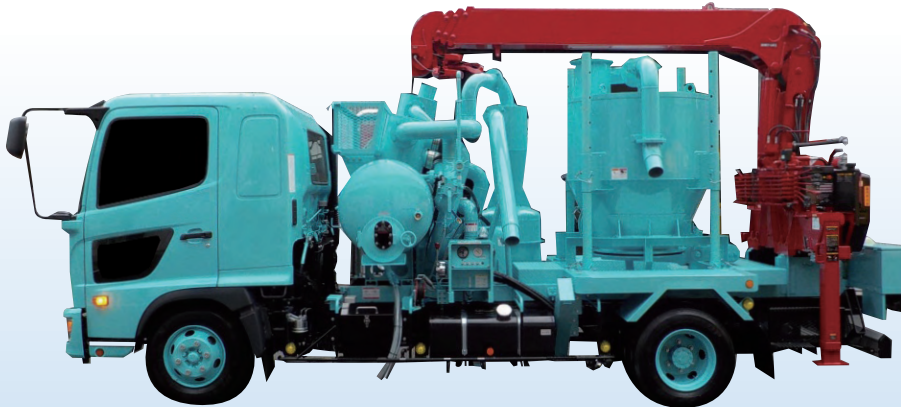


3トン 強力吸引作業車 (SM-03BVP)



本製品は、3トン車架装の強力吸引作業車です。4トン車架装車輛では対応できない、狭い場所での作業に活躍します。4トン車と同等のタンク容量を確保し、収納スペースを多くとる等、レイアウトによるバリエーションが豊富です。

活性炭回収用 強力吸引作業車 (SM-04SVC)



本製品は、活性炭の回収用強力吸引作業車です。
車載クレーンにて、回収タンクの積み込みや車外設置及び荷物の移動が楽に行えます。吸引時には回収タンクを車外に設置して使用し、吸引物はタンク下部に装着したフレコンバック等へ、落とし込みで回収します。

K&Eニュース100号発行

おかげさまで「K&Eニュース」は100号を達成。



1997年7月1日発行の第1号より22年、K&Eニュースは2019年秋号で第100号を迎えることができました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今後も製品情報をはじめ、弊社の情報を発信して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

※「K&Eニュース」とは弊社がお客様ニーズにお応えするための情報提供誌です。

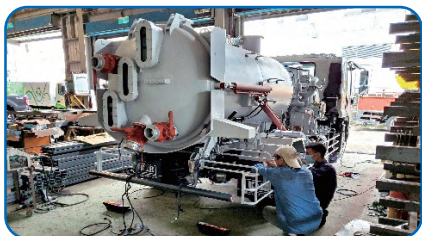
※当社ホームページにてバックナンバー第38号(2001年7月)～第100号まで閲覧できます。

台湾(台北市)にて現地組立を実施

台湾の企業より発注のあった吸引車の上物装置の組立と品質検査を実施しました。

吸引車の操作方法や保守点検について指導を行い、塗装後の留意点も合わせて説明を行いました。

本製品は、台北市内の下水管・雨水管の清掃に使用されます。



組立中



検査中



塗装前車輛

会社の概要

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	211名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	柳井 仁司
取締役	北村 和則
社外取締役	西岡 啓二郎
社外取締役	長山 育男
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	平井 雄一
社外監査役	筒井 康賢

事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場	〒783-0007 高知県南国市明見913-11 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター	〒783-0007 高知県南国市明見898-20 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
eセンター	〒783-0007 高知県南国市明見898-26 TEL (088) 864-5412 FAX (088) 864-5411
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市長区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

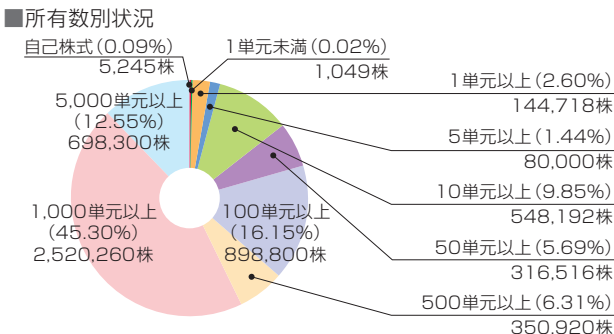
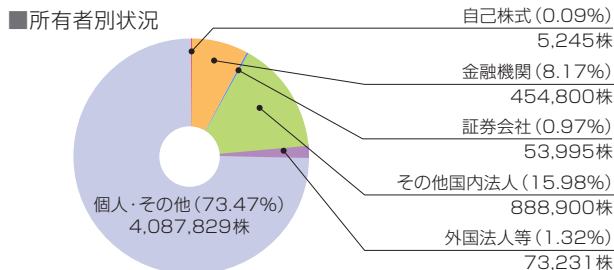
会社が発行する株式の総数 17,576,000株
発行済株式の総数 5,558,755株
(自己株式5,245株を除く)

株主数 1,532名
大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社扇港鋼業所	698,300株	12.56%
山本 琴一	465,400株	8.37%
兼松エンジニアリング従業員持株会	430,800株	7.75%
山口 隆士	318,432株	5.73%
山本 吾一	262,860株	4.73%
三谷 恵美子	212,680株	3.83%
柳川 裕司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋介	133,848株	2.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	133,600株	2.40%

(注) 持株比率は、自己株式(5,245株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎.0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7

TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>



RE80

古紙配合率80%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。